

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 木村 睦
 (氏名) 掛見 卓也
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	67,317	0.5	3,548	11.3	3,912	9.2	1,969	15.7
2019年3月期第1四半期	66,969	5.7	4,000	92.8	4,306	91.6	2,337	100.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,220百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 1,406百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.87	
2019年3月期第1四半期	11.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	285,355	178,200	51.2
2019年3月期	287,106	179,795	51.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 146,100百万円 2019年3月期 148,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				18.00	18.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,800	3.6	8,400	3.0	8,500	3.1	4,600	0.5	23.04
通期	290,000	4.5	19,000	6.7	19,500	6.2	10,700	2.8	53.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	201,699,743 株	2019年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,069,706 株	2019年3月期	2,069,706 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	199,630,037 株	2019年3月期1Q	199,630,489 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待されますが、通商問題の動向や中国経済の減速、中東情勢の緊迫化などにより、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高67,317百万円（前年同期比100.5%）、売上総利益26,473百万円（前年同期比99.6%）、営業利益3,548百万円（前年同期比88.7%）、経常利益3,912百万円（前年同期比90.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,969百万円（前年同期比84.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、ソフトアルコール飲料は、引き続き好調に推移いたしました。焼酎や清酒が減少いたしましたので、酒類全体の売上高は減少いたしました。

調味料は、みりんは減少いたしました。その他調味料が増加いたしましたので、前年同期並みとなりました。原料用アルコール等では、工業用アルコールなどが好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、36,009百万円（前年同期比97.9%）となりました。売上原価は、21,868百万円（前年同期比98.7%）となり、売上総利益は、14,140百万円（前年同期比96.8%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費などが増加し、13,967百万円（前年同期比101.5%）となり、営業利益は、172百万円（前年同期比20.3%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、Mutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移し、海外酒類事業でも、清酒やウイスキーなどが増加しましたので、19,819百万円（前年同期比108.5%）となりました。売上原価は、14,259百万円（前年同期比112.1%）となり、売上総利益は、5,559百万円（前年同期比100.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し、4,881百万円（前年同期比111.0%）となり、営業利益は、678百万円（前年同期比59.0%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬と受託サービスが増加いたしました。理化学機器が減少したこと、また前連結会計年度中に健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡した影響により、8,650百万円（前年同期比97.8%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、2,734百万円（前年同期比78.3%）となり、売上総利益は、5,916百万円（前年同期比110.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などが減少し、3,664百万円（前年同期比96.2%）となり、営業利益は、2,251百万円（前年同期比145.8%）となりました。

[その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度中に宝ヘルスケア株式会社の株式を売却し、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、7,682百万円（前年同期比94.4%）となりました。売上原価は、6,652百万円（前年同期比97.3%）となり、売上総利益は、1,029百万円（前年同期比79.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、512百万円（前年同期比64.6%）となり、営業利益は517百万円（前年同期比101.5%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年 同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	13,899	12,297	88.5
清酒	4,153	4,111	99.0
ソフトアルコール飲料	9,419	10,028	106.5
その他酒類	1,654	1,611	97.4
酒類計	29,127	28,048	96.3
本みりん	3,283	3,191	97.2
その他調味料	2,330	2,423	104.0
調味料計	5,614	5,614	100.0
原料用アルコール等	2,030	2,345	115.5
計	36,772	36,009	97.9
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,384	2,493	104.6
海外日本食材卸	16,341	17,774	108.8
その他	24	24	102.0
グループ内連結消去	△478	△473	—
計	18,270	19,819	108.5
タカラバイオグループ	8,847	8,650	97.8
報告セグメント計	63,890	64,479	100.9
その他	8,137	7,682	94.4
セグメント計	72,028	72,161	100.2
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△5,058	△4,844	—
合計	66,969	67,317	100.5

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は173,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,071百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が5,834百万円減少し、現金及び預金が2,782百万円、商品及び製品が1,248百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は111,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ679百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券などの投資その他の資産が1,778百万円減少し、有形固定資産が1,430百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、285,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,751百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は62,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,010百万円増加いたしました。これは主に、固定負債からの振替により1年内償還予定の社債が5,000百万円増加したことによるものであります。

固定負債は44,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,166百万円減少いたしました。これは主に、社債が5,000百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、107,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は178,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,594百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1,548百万円、その他有価証券評価差額金が710百万円それぞれ減少し、非支配株主持分が502百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.2%（前連結会計年度末は51.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,415	52,198
受取手形及び売掛金	59,780	59,158
有価証券	16,089	10,254
商品及び製品	40,600	41,848
仕掛品	1,341	1,578
原材料及び貯蔵品	4,093	4,495
その他	4,006	4,728
貸倒引当金	△315	△323
流動資産合計	175,011	173,940
固定資産		
有形固定資産	60,576	62,007
無形固定資産		
のれん	12,400	12,164
その他	7,514	7,418
無形固定資産合計	19,914	19,582
投資その他の資産		
投資有価証券	26,143	25,063
その他	5,520	4,822
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	31,603	29,825
固定資産合計	112,094	111,415
資産合計	287,106	285,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,374	16,040
短期借入金	9,960	9,958
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払酒税	10,224	10,724
未払費用	5,809	4,783
未払法人税等	1,879	1,238
賞与引当金	2,579	3,661
販売促進引当金	1,921	2,154
その他の引当金	180	162
その他	8,891	9,107
流動負債合計	57,822	62,832
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	5,415	5,398
退職給付に係る負債	8,757	8,770
長期預り金	5,337	5,322
その他	4,977	4,830
固定負債合計	49,489	44,322
負債合計	107,311	107,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,417	2,417
利益剰余金	124,788	123,239
自己株式	△1,368	△1,368
株主資本合計	139,064	137,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,814	9,104
繰延ヘッジ損益	114	48
為替換算調整勘定	△196	44
退職給付に係る調整累計額	△599	△612
その他の包括利益累計額合計	9,133	8,584
非支配株主持分	31,597	32,100
純資産合計	179,795	178,200
負債純資産合計	287,106	285,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	66,969	67,317
売上原価	40,387	40,844
売上総利益	26,582	26,473
販売費及び一般管理費	22,582	22,924
営業利益	4,000	3,548
営業外収益		
受取配当金	287	314
その他	180	315
営業外収益合計	467	630
営業外費用		
支払利息	85	101
為替差損	34	92
その他	42	72
営業外費用合計	161	266
経常利益	4,306	3,912
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	18	113
投資有価証券評価損	-	74
その他	-	2
特別損失合計	18	190
税金等調整前四半期純利益	4,288	3,723
法人税、住民税及び事業税	1,871	1,401
法人税等調整額	△496	△295
法人税等合計	1,375	1,105
四半期純利益	2,912	2,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	575	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,337	1,969

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,912	2,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509	△710
繰延ヘッジ損益	226	△66
為替換算調整勘定	△4,034	389
退職給付に係る調整額	△2	△10
その他の包括利益合計	△4,319	△397
四半期包括利益	△1,406	2,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△983	1,421
非支配株主に係る四半期包括利益	△423	798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(以下、「ASU第2014-09号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。ASU第2014-09号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、借手は、原則としてすべてのリースについて、適用開始日に資産および負債を認識しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,614	18,205	8,743	63,563	3,405	66,969	0	66,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	64	103	326	4,731	5,058	△5,058	-
計	36,772	18,270	8,847	63,890	8,137	72,028	△5,058	66,969
セグメント利益	851	1,150	1,544	3,546	509	4,055	△55	4,000

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去12百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△67百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,874	19,766	8,650	64,290	3,023	67,313	3	67,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	53	0	188	4,659	4,847	△4,847	-
計	36,009	19,819	8,650	64,479	7,682	72,161	△4,844	67,317
セグメント利益	172	678	2,251	3,102	517	3,619	△71	3,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去21百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△92百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。